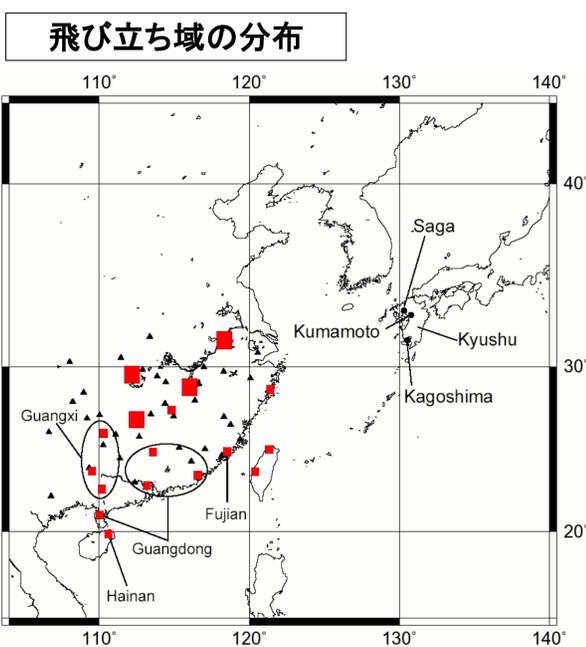
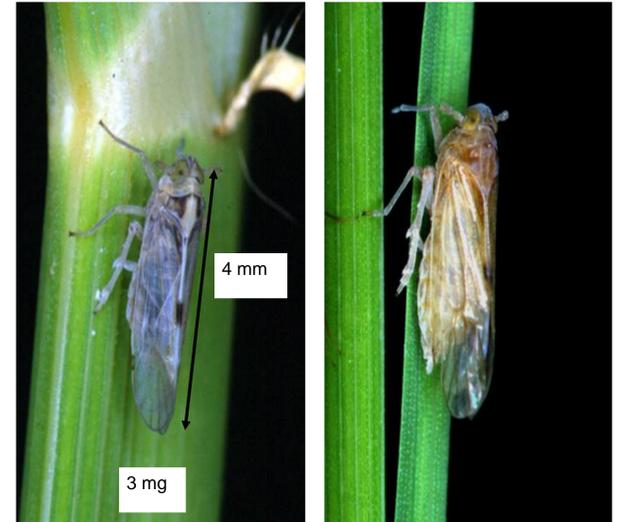


長距離移動性害虫の飛来予測システム

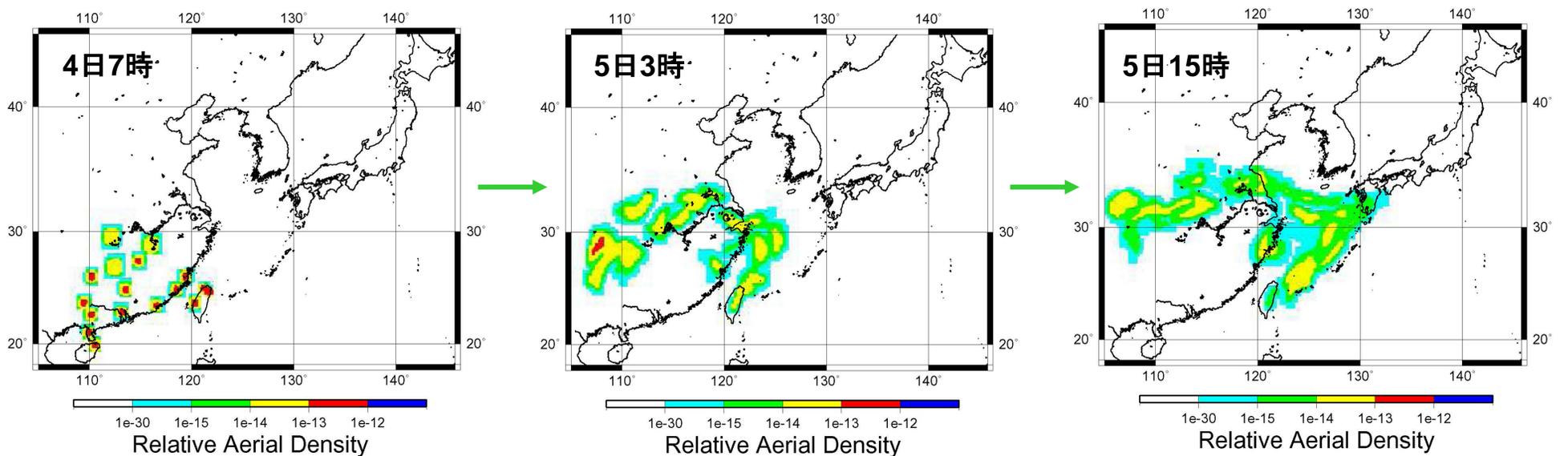
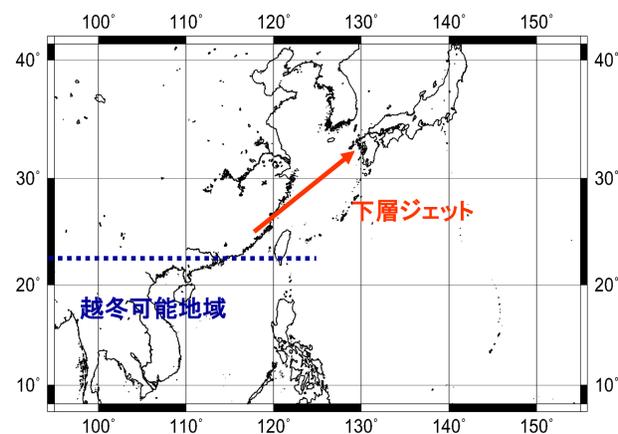
農研機構 中央農業総合研究センター

水稻で坪枯れを引き起こすイネウンカ類の飛来を高精度に予測できます。

- イネの重要害虫であるセジロウンカやトビイロウンカなどのイネウンカ類は、主に梅雨時期の低気圧や台風に伴う強い南西風に運ばれて、中国南部から日本へ飛来します。
- モデルは風に流されて飛翔する多数のウンカの位置を計算します。そこから日本上空での相対的な空中密度を求めます。予測的中率は80%程度です。



計算資源：大規模アプリケーションサーバ
バーチャルラボシステム
衛星データ (NOAA)



予測の例 06年7月4日6時に飛び立ったウンカの相対密度分布の変化。複数の飛び立ち域からの合成図。九州南部に飛来することを予測します。また、ウンカ雲を遡ってトレースすると飛来源がわかります。

利用状況

九州、中国地域都道府県、大学、農水所管独法、一般(プロバイダ)、中国(China)、韓国から月平均約260件のアクセスがあります。